

スタートアップ企業「X-mobile」の ブランドマーケティング — 偶有性という経営資源 —

スタートアップ企業のブランドマーケティングとはいかなるものか。唯一独立系の格安携帯会社「X-mobile」を事例としたマーケティングセミナーを開催します。上空3万フィートの「偶然の出会い」から、「ド素人」の通信事業を構想し、めくるめく出会いを利用しながら、今なお前進しつつある「X-mobile」の生きた姿をお伝えします。

企業とは偶然の産物なのか。偶然をも取り込む経営姿勢、偶然を利用した資金集めの方法、偶然を活かしたブランドの育て方等々、創業者である社長自らが大いに語ります。また、日本の通信行政の問題点を明らかにし、さらにスタートアップのあるべきブランドマーケティングを詳細に解説します。

配信期間 2021年 11月16日(火) ~30日(火)

司会：新倉 貴士（法政大学大学院経営学研究科教授、イノベーション・マネジメント研究センター所員）

講演①	4 5分	スタートアップ企業「X-mobile」の挑戦！ 木野 将徳（X-mobile株式会社 創業者 代表取締役社長）
講演②	4 5分	日本の通信行政を改革せよ！ 鈴木 たつお（東村山市議会議員、法政大学イノベーション・マネジメント研究センター客員研究員、元(株)ウィルコム(現ソフトバンク)執行役員法人事業本部長、元マイクロソフト(株) IT市場開発部長）
講演③	4 5分	スタートアップ企業に求められる偶有性とブランドマーケティング 新倉 貴士（法政大学大学院経営学研究科教授、イノベーション・マネジメント研究センター所員）
	4 5分	パネルディスカッション 司会：天尾 美花（東京大学フェンドレイザー、法政大学大学院経営学研究科研究生） パネラー：木野 将徳、鈴木 たつお、新倉 貴士

講演者

木野 将徳

エックスモバイル株式会社 創業者 代表取締役社長。
高校卒業後19歳で起業し27歳までに10社以上を創業するも失敗したが、
2013年に格安携帯会社エックスモバイルを創業し、現在に至る。

鈴木 たつお

東村山市市議会議員。
マイクロソフト(株)IT市場開発部長、(株)ウィルコム株式会社(現ソフトバンク)
執行役員法人事業本部長を歴任して、現在に至る。法政大学大学院経営学研究科修了。
法政大学イノベーション・マネジメント研究センター客員研究員。

新倉 貴士

法政大学経営学研究科教授、イノベーション・マネジメント研究センター所員。
慶応義塾大学大学院経営管理研究科博士課程修了、関西学院大学商学部教授を経て、現在に至る。

申込方法

下記専用サイトよりお申込み下さい。
お申込者にはシンポジウムの配信リンク先をご連絡いたします。
<https://www.event-u.jp/fm/10969>

申込期限

11月30日(火)

配信方法

YouTube
参加費無料



【お問い合わせ】：



法政大学イノベーション・マネジメント研究センター

〒102-8160 東京都千代田区富士見2-17-1

TEL:03-3264-9420 / E-mail: cbir@adm.hosei.ac.jp / URL: <https://riim.ws.hosei.ac.jp>